

2012年度  
(平成24年度)

**重 点 政 策**  
**【実績まとめ】**

チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍

**福 山 市**

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～

## 2012年度(平成24年度)重点政策一覧(目次)

(単位:千円)

| 分野           | 柱立て             | 施策(事業)名                 | 決算額     | 再掲分     | 再掲分を含む事業費 | ページ |
|--------------|-----------------|-------------------------|---------|---------|-----------|-----|
| 1 教育         | 学校教育の充実         | 小中一貫教育推進事業              | 6,561   |         | 6,561     | 1   |
|              |                 | 地域学習活動支援事業(土曜チャレンジ教室)   | 1,071   |         | 1,071     | 2   |
|              | 文化財の保護と活用       | 靱地区町並み保存                | 11,685  |         | 11,685    | 3   |
|              | 青少年活動の充実        | 子ども・若者市政参画              | 512     |         | 512       | 4   |
|              | スポーツの振興         | グラウンド・ゴルフ場整備事業          | 4,857   |         | 4,857     | 5   |
| 小計           |                 | 5件                      | 24,686  |         |           |     |
| 2 環境         | 地球環境の保全         | 温暖化対策事業(スクラムふくやま☆エコトライ) | 105,681 | 223,541 | 329,222   | 6   |
|              |                 | LED防犯灯整備事業              | 223,541 |         | 223,541   | 8   |
|              | 耕作放棄地の再生・活用     | 耕作放棄地対策事業               | 7,733   |         | 7,733     | 9   |
| 小計           |                 | 3件                      | 336,955 |         |           |     |
| 3 活力         | 靱地区の再生・活性化      | 靱地区まちづくりの推進             | 16,536  | 79,197  | 95,733    | 10  |
|              | 中心市街地活性化の推進     | 中心市街地の魅力の創出             | 21,389  | 21,083  | 42,472    | 11  |
|              | 都市ブランドの創出と発信    | 「福山らしさ」創出事業             | 17,954  |         | 17,954    | 12  |
|              | 市民の自立と参画        | 100万本のばらのまちづくり推進事業      | 32,150  |         | 32,150    | 14  |
|              |                 | 協働のまちづくり推進事業            | 2,732   |         | 2,732     | 16  |
|              |                 | 「福山市暮らしの便利帳」の発行         | -       |         | 0         | 17  |
|              | 効率的・効果的な行政運営の推進 | 公共施設サービスの再構築            | -       |         | 0         | 18  |
|              | 地域の活性化          | 広域連携事業                  | -       |         | 0         | 19  |
|              |                 | 大学連携事業                  | 3,199   |         | 3,199     | 20  |
|              | 公共交通サービスの充実     | 生活バス交通利用促進対策事業          | 38,295  |         | 38,295    | 21  |
|              | 地産地消の推進         | 地産地消推進運動                | 12,377  | 7,733   | 20,110    | 22  |
|              | 農業施策の推進         | 耕作放棄地対策事業(再掲)           | -       | 7,733   | 7,733     | 24  |
| 里山里地の再生・保全事業 |                 | 42,404                  | 7,733   | 50,137  | 25        |     |
| 小計           |                 | 12件                     | 187,036 |         |           |     |

(単位:千円)

| 分野     | 柱立て          | 施策(事業)名          | 決算額        | 再掲分     | 再掲分を含む事業費 | ページ |
|--------|--------------|------------------|------------|---------|-----------|-----|
| 4 福祉   | 高齢者福祉の充実     | 買い物支援事業          | 0          |         | 0         | 26  |
|        | 社会参加に向けた自立支援 | 青少年自立支援事業        | 817        |         | 817       | 27  |
|        |              | 生活保護受給者の自立支援     | 12,065     |         | 12,065    | 28  |
|        | 子どもの発達支援の充実  | こども発達支援センター整備事業  | 58,776     |         | 58,776    | 29  |
| 小計     |              | 4件               | 71,658     |         |           |     |
| 5安心・安全 | 地域医療体制の充実    | 病院施設整備事業         | 6,552,274  |         | 6,552,274 | 30  |
|        |              | 福山夜間成人診療所整備事業    | 413,275    |         | 413,275   | 31  |
|        | 消防・救急体制の充実   | 消防・救急体制の整備       | 270,878    |         | 270,878   | 32  |
|        | 災害に強いまちづくり   | 水道施設の耐震化事業       | 19,097     |         | 19,097    | 33  |
|        |              | 下水道施設の耐震化事業      | 143,994    |         | 143,994   | 34  |
|        |              | 小・中学校の耐震補強等整備事業  | 1,781,334  |         | 1,781,334 | 35  |
|        |              | 橋りょう長寿命化事業       | 22,164     |         | 22,164    | 36  |
|        | 安心・安全な給水の確保  | 出原浄水場更新事業        | 258,886    |         | 258,886   | 37  |
|        | 市民の安全対策      | 歩道・自転車走行空間整備事業   | 280,989    |         | 280,989   | 38  |
|        |              | 交通施設バリアフリー設備整備事業 | 140,718    |         | 140,718   | 39  |
|        |              | LED防犯灯整備事業(再掲)   | -          | 223,541 | 223,541   | 40  |
| 小計     |              | 10件              | 9,883,609  |         |           |     |
| 合計     |              | 34件              | 10,503,944 |         |           |     |

## 各ページの見方

「新規」「継続」について  
重点政策として、「新規」か「継続」を記入しています。

分野

柱立て

課

|         |                      |             |    |
|---------|----------------------|-------------|----|
| 施策（事業）名 |                      | □ 新規 ・ □ 継続 |    |
| 計画期間    | 年度（平成 年度）～ 年度（平成 年度） | 決算額         | 千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

計画期間について  
重点政策の内容での施策や事業の期間を記入しています。

2 成果と年度別事業費

年度別事業費について  
( ) が付いている事業費は、当年度において重点政策に計上されていなかった事業についての事業費を記載しています。

(単位:千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 |                    |                    |                    |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                               |             |
|---------|-------------------------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>小中一貫教育推進事業</b>             | ■ 新規 ・ □ 継続 |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～2014年度(平成26年度) | 決算額 6,561千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○小中一貫教育カリキュラムの作成・実施

・学力や生徒指導にみられる本市学校教育の課題を解消し、「変化の激しい社会をたくましく生きる力」を育てるために、小中合同研修や合同行事、乗り入れ授業など、校区の実態に応じた取組を行いました。その結果を踏まえ、小中一貫教育カリキュラムの作成に取り組みました。



【小中合同研修:35 校区】



【小中合同行事(あいさつ運動):29 校区】



【乗り入れ授業:24 校区】

○小中一貫教育推進懇話会の開催

・地域団体、学校関係者、大学関係者などで構成する懇話会において、本市小中一貫教育の推進方針、方策や児童生徒に福山への愛着と誇りを持たせるための「(仮称)ふるさと学習」の導入を検討しました。(6月、8月、1月)



【第1回懇話会の様子】

○小中一貫教育全体研修の実施

・小中一貫教育推進担当者を対象に、中学校区で取り組む学力向上や生徒指導に係る優れた取組を広げるため、実践交流を行いました。(4月、7月、1月)

2 成果と年度別事業費

○2015年度（平成27年度）からの小中一貫教育全面実施に向け、中学校区の実態に応じた取組を試行的に実施し、カリキュラムの作成を進めました。

○懇話会の意見を踏まえ、「(仮称)ふるさと学習」の導入を決めました。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 6,561              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                       |             |
|---------|-----------------------|-------------|
| 施策（事業）名 | 地域学習活動支援事業(土曜チャレンジ教室) | □ 新規 ・ ■ 継続 |
| 計画期間    | 2011年度(平成23年度)～       | 決算額 1,071千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○土曜チャレンジ教室

児童生徒に「『わかった』『できた』を実感させる」「計画を立てて勉強する力を付けさせる」ことを目的に、地域在住の退職教職員や市立大学の学生などの支援を得て、土曜チャレンジ教室を実施しました。

- ・日 時：第2・4土曜日 9：00～11：00
- ・対 象：小学校5・6年生，中学校1年生
- ・内 容：算数・数学，英語の基礎的な学習
- ・開設校区：初年度開設の7中学校区に加えて，4中学校区を新たに開設(合計11中学校区)  
児童生徒268人，ボランティア106人参加

(単位：人)

| 年 度    | 2011年度(平成23年度)開設 |           |           |           |           |           |              | 2012年度(平成24年度)開設 |           |           |            |
|--------|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|------------------|-----------|-----------|------------|
| 校 区    | 城南中              | 幸千中       | 松永中       | 新市中央中     | 大成館中      | 神辺西中      | 東中           | 常金中              | 神辺東中      | 精華中       | 中央中        |
| 場 所    | 城南ふれあい<br>プラザ    | 千田<br>公民館 | 松永<br>公民館 | 新市<br>公民館 | 神村<br>公民館 | 神辺<br>公民館 | 東ふれあい<br>プラザ | 常金丸<br>公民館       | 御野<br>公民館 | 金江<br>公民館 | 西深津<br>公民館 |
| 児童生徒   | 38               | 28        | 30        | 29        | 20        | 36        | 34           | 18               | 14        | 6         | 15         |
| ボランティア | 13               | 10        | 9         | 6         | 7         | 10        | 25           | 5                | 8         | 10        | 3          |



【土曜チャレンジ教室の様子】

2 成果と年度別事業費

○参加児童生徒のアンケート結果

(単位：%)

| 内 容              | 2011年度(平成23年度) | 2012年度(平成24年度) |
|------------------|----------------|----------------|
| 「分かった」と思うことが増えた  | 87.7           | 97.9           |
| 「できた」と思うことが増えた   | 95.9           | 94.7           |
| 学習の仕方が身に付いた      | 90.4           | 92.7           |
| チャレンジ教室に参加してよかった | 98.6           | 100            |

○退職教職員などの地域ボランティアによる教室の円滑な運営と児童生徒へのきめ細かな指導ができました。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | 1,404              | 1,071              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                    |               |
|---------|--------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>鞆地区町並み保存</b>    | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2007 年度(平成 19 年度)～ | 決算額 11,685 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

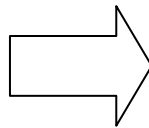
○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

- ・補助件数 7 件（修理 3 件、応急処置 2 件、修景 2 件）



【修景前…昭和戦後の建物】



【修景後…伝統的な様式で町並みに調和】

○町並み保存の推進

国の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、鞆の伝統的建造物に詳しい大学教授などの専門家へ相談しながら、2010 年度（平成 22 年度）から 2 か年で実施した補完調査の報告書の作成に取り組みました。

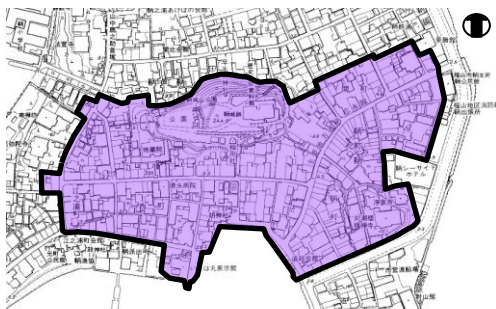
○町並み保存拠点施設の整備

伝統的建造物を活用し、町並み保存の拠点施設を整備するため、老朽化した建物の応急修繕を行いました。

2 成果と年度別事業費

○市単独の補助事業により、貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。

（2012 年度（平成 24 年度）までに 59 件の事業を実施）



【鞆町伝統的建造物群保存地区】



【鞆の町並み】

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 11,704             | 58,575             | 11,685             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 施策（事業）名 | 子ども・若者市政参画      | □ 新規 ・ ■ 継続 |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～ | 決算額 512千円   |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○ふくやま子どもフェスティバルの充実

- ・まちづくりについて考える契機とするために、大学生や中・高校生を対象にボランティアを募集しました。
- ・小・中・高校生を対象に「子ども企画委員」を募集し、出店に向けた会議を行いました。
- ・青年層（大学生等）を対象に、事業・イベント等の企画運営方法を学び、リーダーとして活躍できる人材を育成するために、講座「ふくやまスイッチ」（全5回連続講座）を開催しました。



【ふくやま子どもフェスティバル】

○大学生による市政参画の推進

- ・次代を担う世代に対して、広く市政に参画できる場を設け、ふるさと福山への誇りと愛着を深めるとともに、まちづくりへの参画を積極的に推進するため、市内の3大学の学生を対象としたワークショップを開催しました。



【大学生ワークショップの様子】

2 成果と年度別事業費

○ふくやま子どもフェスティバルにおける子ども・若者市政参画の場の充実

- ・フェスティバルでは、多くの大学生や中・高校生たちがボランティアで運営に参加することで、まちづくりに対する関心が高まりました。  
(ボランティア数) 132人 (参加校) 16校 (延べ来場者数) 15,000人
- ・「子ども企画委員」を設置し、子どもたち主体のイベントとして実施しました。自ら企画・運営することで「楽しさ」だけでなく「難しさ」も実感することができ、子どもの市政参画の場の充実につながりました。
- ・まちづくり講座「ふくやまスイッチ」の修了生が、講座で学んだ知識や技術を生かして、イベントへとつなげることができました。

○大学生による市政参画の推進

- ・ワークショップにおいて、市の長所、短所などを学ぶとともに、まちづくりのアイデアをまとめ、実践に移すことができました。(アイデアは、市の「キーワードモデル事業」を活用して、学生が主体となって実施)

(ワークショップ参加者数) 福山大学，福山平成大学，福山市立大学の学生 15人

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 547                | 528                | 512                |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                               |             |         |
|---------|-------------------------------|-------------|---------|
| 施策（事業）名 | <b>グラウンド・ゴルフ場整備事業</b>         | ■ 新規 ・ □ 継続 |         |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額         | 4,857千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

2013年度（平成25年度）の完成に向け、整備工事に着手しました。

整備場所：芦田川河川敷（山手町六丁目地先芦田川右岸）

整備内容：コース整備 2コース（40m×70m×2面）

駐輪場 80台分（山手橋立体橋下）

手すり付き階段 1基 芦田川河川敷

※芝張，駐車場，仮設事務所兼倉庫，仮設トイレは2013年度（平成25年度）に整備



【山手橋立体橋下に整備した駐輪場】



【進入用階段に手すりを設置】

2 年度別事業費

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 4,857              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                               |                                    |
|---------|-------------------------------|------------------------------------|
| 施策（事業）名 | 温暖化対策事業（スクラムふくやま☆エコトライ）       | □ 新規 ・ ■ 継続                        |
| 計画期間    | 2011年度（平成23年度）～2020年度（平成32年度） | 決算額 329,222千円<br>（再掲分 223,541千円含む） |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

福山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、「家庭・地域・学校」や「事業者」「行政」が一体となって、自分にできる地球温暖化防止活動に取り組みました。

○地球にやさしい生活様式の定着

- ・ふくやまエコファミリー認定事業＜認定：1,344世帯＞  
電気、ガス等の使用量削減などに努める世帯を認定しました。
- ・エコドライブ普及事業＜講習：6事業所＞  
環境負荷の少ない運転技術（エコドライブ）講習を通じて、環境配慮行動への理解を広めました。
- ・エコでえ～ことキャンペーン＜レジ袋削減枚数：432,998枚＞  
指定する環境配慮行動や冬の節電に取り組むキャンペーンを実施しました。



【エコでえ～こと  
キャンペーン啓発活動】

○環境負荷の少ない事業活動の推進

- ・環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21）を取得する中小事業者などを支援し、新たにグリーン経営認証取得費を補助しました。＜ISO：5件＞

○エネルギーの効率的な利用の促進

- ・LED防犯灯整備事業（※再掲）

○再生可能エネルギー等の普及促進

- ・住宅などへの太陽エネルギー導入促進等に取り組みました。  
住宅用太陽光発電システム設置費補助 1,422件  
住宅用太陽光発電システム設置資金融資あっせん及び利子補給融資あっせん 28件  
住宅用太陽熱利用システム設置費補助 67件  
大規模太陽光発電システム設置費補助 130件
- ・次世代エネルギーパーク啓発事業 リーフレット作成 10,000部



【福山市次世代エネルギーパーク】

○低炭素型社会のまちづくりの推進・吸収源対策の推進

- ・ノーマイカー運動（ベスト運動）を推進しました。
- ・家庭・事業所における緑のカーテン（ツル性の植物）による壁面緑化を促進しました。
- ・職員によるエコ通勤や公用自転車の利用促進に取り組みました。

2 成果と年度別事業費

○1年間で11,757トンの二酸化炭素の排出量を削減しました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>（平成22年度）           | 2011年度<br>（平成23年度）           | 2012年度<br>（平成24年度）           |
|-----|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 事業費 | 204,993<br>（※再掲分157,234千円含む） | 446,378<br>（※再掲分338,968千円含む） | 329,222<br>（※再掲分223,541千円含む） |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計





# 協働

## 関連事業との連携 6,508 t削減

- ベスト運動の推進  
(会員数約 18,800 人)
- 公共交通の利用促進による交通渋滞の緩和



【ベスト運動】

## 家庭・地域・学校における取組 2,721t削減

- ふくやまエコファミリー認定 1,344 世帯
- エコでえ〜ことキャンペーン  
レジ袋 約 43.3 万枚  
電力削減量 8.2 万 kWh
- 太陽エネルギー導入促進事業  
住宅用太陽光発電 1,422 基
- 緑化推進  
(緑のカーテン啓発事業) 212 世帯
- 環境学習推進校 21 校
- 自転車利用の促進
- ふくやま街中オアシス  
～みんなでクールシェア～ など



【緑のカーテン啓発事業】

**CO<sub>2</sub>  
11.757トン  
削減**

### 主な取組例

- ・レジ袋 1 枚削減で 48g 削減
- ・木を 1 本植えたら 3kg 削減
- ・ベスト運動 1 回参加して 56kg 削減

## 行政の取組 1,215 t削減

- ISO14001 の推進
- 関係機関へ温暖化防止活動実施の啓発
- 公共施設への太陽光発電設置
- LED 防犯灯整備事業 (\*再掲)  
11,456 灯設置
- 次世代エネルギーパーク啓発事業
- 自転車利用の促進(職員によるエコ通勤, 公用自転車の利用促進)
- 緑化推進  
苗木配布 年間 23,062 本
- 緑のカーテン啓発事業  
公共施設 225 施設
- レンタサイクル利用の促進

## 事業者・団体への支援 1,313 t削減

- ISO1400 の認証取得費補助 5 事業者
- 太陽エネルギー導入促進事業  
大規模太陽光発電 130 基
- エコドライブ普及事業
- 緑のカーテンエコ企業認定 11 事業所
- 福山産クールビズ製品認定 22 社 43 品



【エコドライブ普及事業ロゴマーク】

スクラムふくやま★エコトライ

|         |                               |                                                                      |
|---------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 施策（事業）名 | <b>LED防犯灯整備事業</b>             | <input type="checkbox"/> 新規 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
| 計画期間    | 2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 223,541千円                                                        |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

地域の安心・安全や環境にやさしいまちづくりのため、市内全ての防犯灯を省エネで長寿命が特長であるLED灯へ切り替えています。

- ・ 計画期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）  
約32,000灯 切り替え予定
- ・ 実績 2012年度（平成24年度） 11,456灯切り替え  
(2011年度（平成23年度） 10,141灯切り替え)



【LED灯】

2 成果と年度別事業費

○LED灯への順次切り替えにより、発電の際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を1年間で約395トン削減しました。（2012年度(平成24年度)末 21,597灯切り替え済）

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | 174,928            | 223,541            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                               |             |             |
|---------|-------------------------------|-------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>耕作放棄地対策事業</b>              | □ 新規 ・ ■ 継続 |             |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額         | 7, 7 3 3 千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○耕作放棄地再生活用モデル事業

農地としての利用を定着させるため、モデル地区を新たに2地区指定（合計20地区）し、耕作放棄地の再生・活用に取り組みました。



【耕作放棄地】



【作業の様子】



【再生した畑】

○耕作放棄地発生防止事業

耕作放棄地や遊休農地を所有する農家等へ自走式草刈機を無償貸与するなど、良好な環境整備と農業生産基盤の維持・保全を推進しました。

○農業体験型農園等設置推進事業

農業者が遊休農地を体験型農園として再生するための支援を行いました。 補助件数：1件

○耕作放棄地実態把握調査

農業委員による農地利用実態調査を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○新たにモデル地区に指定した2地区において46aの耕作放棄地を解消しました。国の耕作放棄地再生利用交付金事業と合わせて、4年間で1,664aの耕作放棄地を解消しました。

| 地区名    | 町名    | 解消面積 | 活用方法           |
|--------|-------|------|----------------|
| 大畑地区   | 内海町田島 | 35a  | そば栽培, 景観作物, 養蜂 |
| 田島西中地区 | 田尻町   | 11a  | イチゴ・椎茸栽培       |
| 合計     | 2地区   | 46a  |                |

○自走式草刈機の貸出件数：74件

○農業体験型農場：1か所（新市町）

○耕作放棄地実態把握調査により120.5haの耕作放棄地を確認しました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 9,106              | 10,483             | 7,733              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                 |                                  |
|---------|-----------------|----------------------------------|
| 施策（事業）名 | 鞆地区まちづくりの推進     | □ 新規 ・ ■ 継続                      |
| 計画期間    | 2005年度(平成17年度)～ | 決算額 95,733千円<br>(再掲分 79,197千円含む) |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○鞆地区まちづくり推進事業の促進

鞆の現状を鑑み、市としてでき得る取組として、支所・公民館の再整備を柱とした公共施設のあり方について、鞆学区まちづくり推進委員会と意見交換を行いました。

○鞆地区道路港湾整備事業の推進

広島県は、埋立架橋計画を方針転換し、山側トンネルの整備を柱とした方針案を示しましたが、地元の理解を得るに至りませんでした。

○市営渡船場2階改修

鞆の浦を訪れた方への観光情報の提供や鞆の魅力発信を行うおもてなしの施設（ギャラリー機能）として、また、鞆地域の方々が集い・交流することのできる憩いの場や地域活性化に向けた活動拠点として活用できるよう市営渡船場2階を改修しました。

○鞆地区町並み保存（※再掲）

町並み保存地区内にある建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

○南消防署鞆出張所改築事業（※再掲）

2014年度（平成26年度）の完成に向け、実施設計、用地取得などに着手しました。

- ・事業期間 2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度）
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 5階建
- ・延べ面積 1,451.13㎡



【市営渡船場展望室】



【修景前】



【修景後】



【南消防署鞆出張所（完成予想図）】

2 成果と年度別事業費

○鞆地区の生活環境の向上や歴史的景観の保全につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度)         |
|-----|--------------------|--------------------|----------------------------|
| 事業費 | 11,704             | 58,675             | 95,733<br>(※再掲分79,197千円含む) |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                    |                                         |
|---------|--------------------|-----------------------------------------|
| 施策（事業）名 | 中心市街地の魅力の創出        | □ 新規 ・ ■ 継続                             |
| 計画期間    | 1999 年度(平成 11 年度)～ | 決算額 4 2, 4 7 2 千円<br>(再掲分 21, 083 千円含む) |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

○福山駅周辺整備事業

- ・福山駅箕島線整備事業（※一部再掲）

「ばらのまち福山」にふさわしい景観となるよう、ines FU KUYAMA（アイネスフクヤマ）の東側歩道へばら花壇（345 本）を整備するなど、福山駅前広場と一体的に整備しました。

- ・伏見町地区市街地再開発事業

コンサルタントを派遣し、基本計画案の策定を支援しました。

- ・三之丸自転車等駐車場整備事業

市営三之丸駐車場の一部を改修し、自転車と自動二輪車の駐車場を整備しました。自転車等収容台数：122 台

○中心市街地賑わい創出活動支援事業

- ・「福山の未来づくりワークショップ」

参加者数：市民約 60 名，市職員 14 名 実施回数：7 回

- ・福山駅前商店街の空き店舗等を活用した社会実験（「フノクワ」）の実施（12 月）

○産学官連携調査研究事業（※再掲）

- ・福山駅周辺地区中心市街地の活性化

「まちづくり Labo 開設研究会」<sup>\*</sup>による、イベント創出社会実験（冬イベント「サンタ大作戦 2012」）の実施

※「まちづくり Labo 開設研究会」…商店街の空き店舗を利用して大学生などが主体となって運営する“まちづくりの活動拠点”の開設を目的に、各種学校や商店街，商工会議所，市等が連携して，その実現可能性を検証する研究会



【市営三之丸駐車場】



【福山の未来づくりワークショップ】



【イベント創出社会実験】

2 成果と年度別事業費

○三之丸自転車等駐車場の整備により，利用者の一部は路上駐輪から転換していることが確認できており，安全な歩行空間の確保や都市景観の改善につながっています。

○市民や大学生が街なかで活動するためのネットワークや体制ができつつあり，賑わいの創出につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度)         |
|-----|--------------------|--------------------|----------------------------|
| 事業費 | 3,188,826          | 850,803            | 42,472<br>(※再掲分21,083千円含む) |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                 |              |
|---------|-----------------|--------------|
| 施策（事業）名 | 「福山らしさ」創出事業     | □ 新規 ・ ■ 継続  |
| 計画期間    | 2007年度(平成19年度)～ | 決算額 17,954千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

地域資源を活かした事業を積極的に推進し、本市の魅力を全国へ発信しました。

○福山ミステリー文学新人賞事業

- ・『島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞』の選考  
第5回の募集・選考・受賞作の決定と、第6回の作品募集を行いました。
- ・ばら祭に福ミスブースを初出展

福山ばら祭（5月19日、20日）の期間中に緑町公園内に福ミスブースを設置し、福ミス関連書籍、福ミスオリジナルフレーム切手を販売しました。20日には、同ブースにて第1回～第4回受賞者・優秀作者と島田荘司さんによるサイン会を行いました。



【第5回受賞作発表記者会見と受賞作】

○食のブランド化事業

- ・「福山うずみフェスタ」を開催しました。（10月7日、8日）
- ・福山発の食ブランド「福山うずみごはん」の知名度向上のため、「福山うずみ弁当レシピ&メッセージの全国募集」を行いました。



【福山うずみフェスタ】



【レシピ&メッセージ募集表彰式】

○福山の歴史・文化等啓発事業

・『まんが「福山を知ローゼ」第1集 まんが物語 阿部正弘』の作画製本  
公立小学校5・6年生の各学級や特別支援学級などへ配布しました。

制作部数：3,000冊（うち1,000冊配布，2,000冊販売）

配布先：公立小学校5,6年生の各学級や特別支援学級，市内・県内図書館，各中核市の図書館など

・『まんが「福山を知ローゼ」第2集 まんが物語 井伏鱒二』の原作制作  
2013年度(平成25年度)の作画製本化に向け，企画立案から原作制作を行いました。



【まんが物語 阿部正弘】

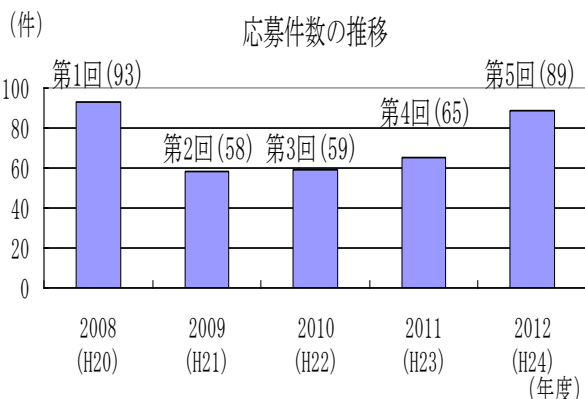
○市民サポーターによる魅力発信事業

広報「ふくやま」の「福のまちぐるり福山探検」コーナーにおいて，市民サポーター（6人）が取材した写真と記事を掲載しました。

2 成果と年度別事業費

○福山ミステリー文学新人賞事業

全国各地や海外から広く応募があり，歴代の受賞作・優秀作は，それぞれ協力出版社から出版され，「島田荘司選ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」の帯をつけて全国の書店で販売されるなど，地域文化の一層の充実と本市の知名度向上につながっています。



◆受賞作・優秀作一覧

|     |     | 「作品名」(作者名)              |
|-----|-----|-------------------------|
| 第1回 | 受賞作 | 「玻璃の家」(松本寛大)            |
|     | 優秀作 | 「少女たちの羅針盤」(水生大海)        |
| 第2回 | 受賞作 | 「伽羅の橋」(叶紙器)             |
| 第3回 | 受賞作 | 「檻の中の少女」(一田和樹)          |
|     | 受賞作 | 「鬼畜の家」(深木章子)            |
|     | 優秀作 | 「変若水」(吉田恭教)             |
|     | 優秀作 | 「キョウダイ」(嶋戸悠祐)           |
| 第4回 | 受賞作 | 「誰がための刃 レゾンドートル」(知念実希人) |
| 第5回 | 受賞作 | 「バイリンガル」(高林さわ)          |

○食のブランド化事業

「福山うずみフェスタ 2012」

<来場者数> 約 20,000 人

<アンケート結果> 「うずみの認知度」：76%（2010年(平成22年)：57%）

「うずみを食べたことがある」：48%（2010年(平成22年)：22%）

「福山うずみ弁当レシピ&メッセージ全国募集事業」

・レシピ&メッセージの応募：全国から 81 点の応募

・受賞作の商品化：地元スーパー（51 店舗）との連携により，5,900 食以上を販売

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 81,803             | 24,246             | 17,954             |

事業費は，「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                           |               |
|---------|---------------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>100万本のばらのまちづくり推進事業</b> | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2007 年度(平成 19 年度)～        | 決算額 32,150 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・福山駅箕島線整備事業

駅前大通り（ines FUKUYAMA(アイネスフクヤマ)）の東側歩道へばら花壇などを整備しました。

- ・駅家公園のばら花壇の設計を行い、新たなばらの名所づくりに着手しました。
- ・小学校 14 校，中学校 9 校にばら花壇を整備しました。
- ・地域の団体などによるばら花壇（協働のばら花壇）の整備が行われました。

（補助花壇数）15 か所



【アイネスフクヤマ前のばら花壇整備事業】



【協働のばら花壇整備事業】

○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

- ・ばらの植栽に熱意のある市民・団体，新築住宅購入者，小学校入学記念などでのばら苗の配布を通じて，ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）の醸成に努めました。

（実績）約 3 万本



【入学記念ばら苗配布事業】

○ばらの植栽サポートプロジェクト

- ・福山ばら大学（第三期）において，地域のばら栽培リーダー養成講座を開催しました。

（修了生）50 人

○花だけじゃない！！ばらのアピールプロジェクト

- ・福山市の知名度向上を図るため，ばら祭や二上り踊りなど市内外のイベントを通じて，ばらのイメージキャラクター「ローラ」によるPRを行いました。



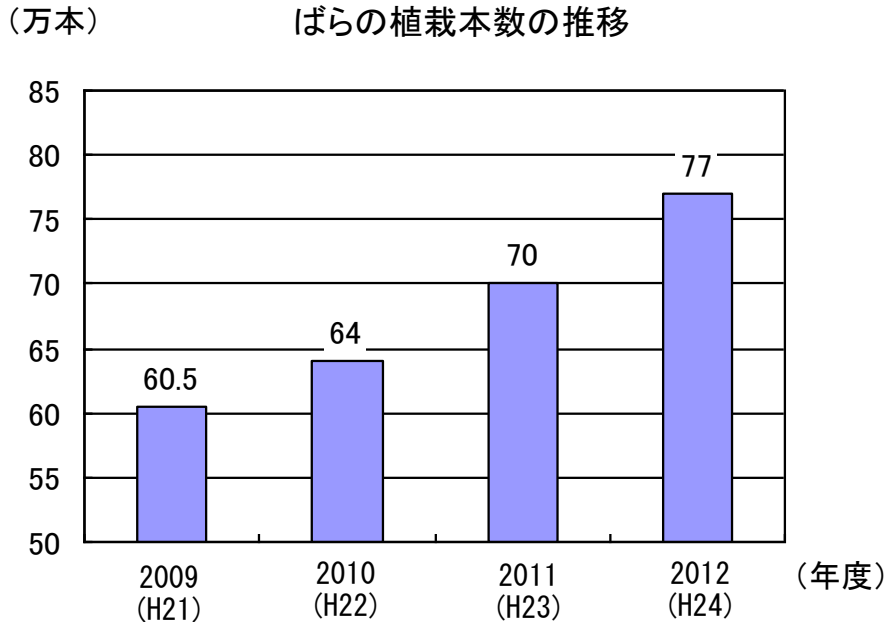
【「ローラ」二上り踊りに参加】

## 2 成果と年度別事業費

### ○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・市内のばらの本数：約 77 万本
- ・学校ばら花壇整備：72 校

※2012 年度（平成 24 年度）末現在



### ○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

多くの市民へのばら苗配布を通じて、ローズマインドの醸成が図られました。

### ○ばらの植栽サポートプロジェクト

第 3 期ばら大学の修了生（50 人）を中心に、地域のばら栽培者への指導や助言を通じて、地域でばらを育てやすい環境づくりが行われています。

### ○花だけじゃない！！ばらのアピールプロジェクト

ばらのイメージキャラクター「ローラ」が、ゆるきゃらグランプリ 2012 にエントリーしたり、ばら祭などのイベント（80 回）へ参加し、全国へ「ばらのまち福山」をアピールしています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 6,727              | 11,532             | 32,150             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                     |                 |
|---------|---------------------|-----------------|
| 施策（事業）名 | <b>協働のまちづくり推進事業</b> | □ 新規 ・ ■ 継続     |
| 計画期間    | 2005 年度(平成 17 年度)～  | 決算額 2, 7 3 2 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

○「地域まちづくり計画」推進事業

「地域まちづくり計画」の策定に向けた研修会を開催するとともに、各生涯学習センターを中心に、福山市立大学と連携して、学区（町）における課題の解決方法や将来像などについて、話し合いやアンケート調査の支援に取り組みました。



○協働のまちづくり人材育成事業

【「地域まちづくり計画」策定に向けた話し合い】

まちづくりに対する市民の意識を高め、地域活動や市民活動を担うリーダーの発掘・育成に取り組みました。

(1) 協働のまちづくりフォーラム

日 時：2013 年(平成 25 年)2 月 15 日(金)

参加者数：80 人（会場：まなびの館ローズコム）



【協働のまちづくりフォーラム】

(2) リーダー養成講座（新春連続講座）

※3 回講座（会場：まなびの館ローズコム）

・第 1 回 開催日：2013 年(平成 25 年)1 月 30 日(水)

参加者数：80 人

・第 2 回 開催日：2013 年(平成 25 年)2 月 26 日(火)

参加者数：40 人

・第 3 回 開催日：2013 年(平成 25 年)3 月 22 日(金)

参加者数：40 人



【リーダー養成講座】

○「(仮称)まちづくりサポートセンター」設立事業

全市的に市民活動を支援する中間支援組織となる「(仮称)まちづくりサポートセンター」の開設に向け、必要な役割や機能などについて調査・研究を行いました。

2 成果と年度別事業費

○4 学区で地域まちづくり計画が策定されたほか、研修会やまちづくりワークショップ、アンケート調査の実施など、全体の約 6 割の学区(町)で策定に向けた取組が進んでいます。

○協働のまちづくりフォーラムやリーダー養成講座の開催が、若い世代のまちづくりへの参画につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 1,209              | 2,565              | 2,732              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 2010 年度（平成 22 年度）は人材育成の事業費のみを計上



|         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 施策（事業）名 | 「福山市暮らしの便利帳」の発行 | ■ 新規 ・ □ 継続 |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～ | 決算額 — 千円    |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○市の政策や防災などに関する行政情報と、暮らしに役立つ便利情報をコンパクトに取りまとめた「福山市暮らしの便利帳」を、企業との協働によって制作しました。

- ・市内全戸に配布
- ・転入者の転入手続時に各市民課窓口で配布
- ・市ホームページへ電子書籍版を掲載



【福山市暮らしの便利帳】

2 成果と年度別事業費

○企業との協働により、事業費用を伴わず制作・配布しました。

主な掲載内容

- ・市の概要
- ・まちづくりの情報（第四次福山市総合計画後期基本計画，第二次福山市協働のまちづくり行動計画「新生・協働プラン」，ばらのアクションプラン）
- ・防災情報（土砂災害ハザードマップ）
- ・暮らしに役立つ便利情報（市民生活，税金，保健・福祉情報など）

総ページ数：180 ページ（表紙・裏表紙を含む，フルカラー印刷）

製作部数：22 万部

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | —                  |

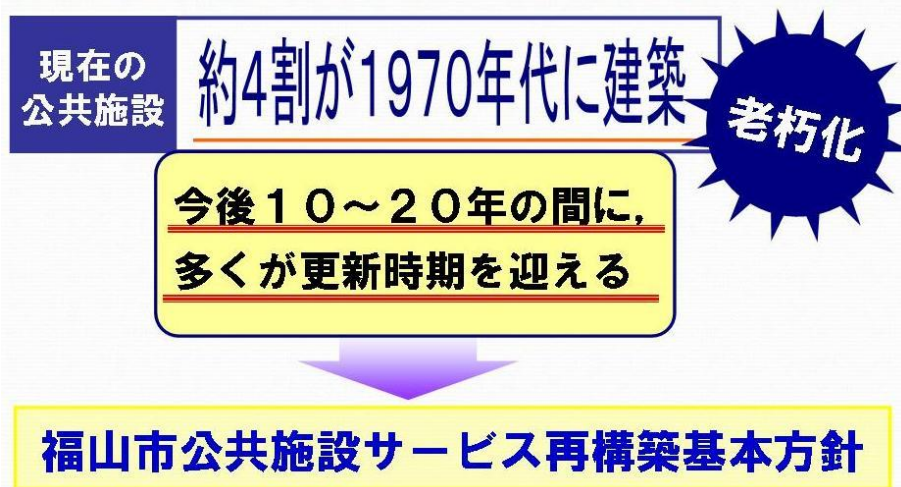
事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 年度当初の施策（事業）名は「(仮称)「福山市暮らしの便利帳」の発行」

|         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 施策（事業）名 | 公共施設サービスの再構築    | ■ 新規 ・ □ 継続 |
| 計画期間    | 2011年度(平成23年度)～ | 決算額 — 千円    |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

福山市の公共施設の約6割は、今後10年～20年の間に、大規模改修や建替えの時期を迎えます。人口減少社会の到来が予測される中、先進事例や各種情報などの調査研究と施設情報の集約・分析を行うとともに、公共施設サービスの将来にわたる適切な提供に向けて「福山市公共施設サービス再構築基本方針」を策定しました。



【基本理念】

社会の変化に的確に対応し、将来にわたり活力のある、持続可能なまちづくりをめざし、公共施設の再構築を通して最適な公共サービス<sup>※</sup>の提供を実現する。

※最適な公共サービス…多様化する機能やニーズなどの社会的要請に柔軟に対応する将来を見据えた必要な公共サービスのこと

(3つの柱)

- 適正配置，保有総量の縮小
- 効率的・効果的な活用
- 計画的保全，長寿命化（更新コストの縮減）

2 年度別事業費

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | —                  |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                    |             |
|---------|--------------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>広域連携事業</b>      | □ 新規 ・ ■ 継続 |
| 計画期間    | 2011 年度(平成 23 年度)～ | 決算額 — 千円    |

**1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと**

広島県の 4 市（三原市，尾道市，府中市，福山市）2 町（世羅町，神石高原町）と岡山県の 2 市（笠岡市，井原市）の 6 市 2 町で構成する備後圏域連携協議会において，防災や公共交通のあり方など，圏域の一体的な発展と広域的な課題について協議しました。

（開催日：2012 年(平成 24 年)7 月 20 日，2013 年(平成 25 年)1 月 29 日）



【災害時の相互応援に関する協定調印式】

**2 成果と年度別事業費**

○災害時の相互応援に関する協定の締結

備後圏域連携協議会を組織する市町の区域内に災害が発生し，被災市町独自では十分に被災地の救援等応急措置が実施できない場合において，相互に応援協力し，被災市町の応急対策や復旧対策を迅速かつ円滑に遂行できるよう協定を締結しました。

（締結日：2012 年(平成 24 年)7 月 20 日）

○公共交通に関する要望書の提出

井笠バスの事業終了などを受け，備後圏域連携協議会において，各市町が課題を抱える公共交通のあり方を議論し，公共交通における国・県・市町の役割について共同で要望書を作成し，広島県市長会，岡山県市長会，広島県町村会に対して提出しました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | —                  |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>大学連携事業</b>   | □ 新規 ・ ■ 継続 |
| 計画期間    | 2011年度(平成23年度)～ | 決算額 3,199千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○福山市・福山市立大学連携事業

福山市・福山市立大学連携協議会において「福山駅周辺の市街地における活性化」など6つの連携テーマについて、市と市立大学が共同で調査研究を行いました。



【福山市産学官連携推進懇話会】

○福山市産学官連携推進懇話会

産学官が経済や教育、福祉など幅広い分野で連携し、地域社会の発展を支えていくことを目的に、産・学・官の代表からなる福山市産学官連携推進懇話会を設置しました。また、講師を招聘し、産学官連携シンポジウムを開催しました。

- ・懇話会、シンポジウム等の開催日：2013年（平成25年）2月12日
- ・参加人数：シンポジウム128人、交流会71人

○産学官連携人材育成事業

- ・福山大学の見学会（企業の代表者や産業支援コーディネーターなど33人参加）
- ・広島県アパレル工業組合との共催による研修会（83人参加）
- ・福山市産業支援コーディネーターによる企業訪問・ヒアリング（81社）

2 成果と年度別事業費

○福山市・福山市立大学連携事業

（連携テーマと主な成果）

- ①福山駅周辺の市街地における活性化 …イベント創出社会実験の実施
- ②災害に強い都市づくり …液状化に関する公開講座の実施
- ③協働のまちづくり(包括的協働プランニング) …地域まちづくり計画に係る講演会の開催
- ④福山市の保幼小連携に関する研究 …保幼小の教員が参加する合同研修会を初めて開催
- ⑤福山市における子どもの生活実態調査…子どもの生活実態調査に係るデータの収集・分析
- ⑥発達障がい児の事例検討を通じた研修…発達障がいの事例検討に係る教員研修の実施

○福山市産学官連携推進懇話会

産・学・官の代表が意見交換・情報共有を行える場を設けるなど、産学官連携を更に深めていく環境づくりを進めました。

○産学官連携人材育成事業

見学会・研修会などを通じて、大学の研究成果・内容と企業の人材育成・ニーズを交換・共有する場を設けることができました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 3,199              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                    |               |
|---------|--------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | 生活バス交通利用促進対策事業     | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2006 年度(平成 18 年度)～ | 決算額 38,295 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

○バス接近表示システムの導入補助

バスの運行位置情報を提供するシステムを導入したバス事業者に対して支援を行いました。

- ・表示機設置数：17 基（16 箇所）



【福山市民病院(液晶壁掛式)】



【福山医療センター(吊下式)】

○低床バスの導入補助

バスの乗降口に段差のないノンステップバスを導入したバス事業者に対して支援を行いました。

- ・導入台数：5 台（大型 1 台，中型 4 台）



【低床バス】

2 成果と年度別事業費

○バス接近表示システムや低床バスの導入促進により，バス利用者の利便性・安全性の向上につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 72,603             | 54,526             | 38,295             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

分野：活力 柱立て：地産地消の推進

経済環境局農林水産部地産地消推進課 農林水産課 保健福祉局保健部健康推進課 児童部保育課  
教育委員会学校教育部学校保健課 農業委員会事務局

|         |                               |                                 |
|---------|-------------------------------|---------------------------------|
| 施策（事業）名 | <b>地産地消推進運動</b>               | □ 新規 ・ ■ 継続                     |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 20,110千円<br>(再掲分 7,733千円含む) |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○福山市地産地消推進協議会支援事業

- ・毎月19日の「食育の日」または毎月29日の「ふくやま地産地消の日」に、市内産の旬の食材を使用した料理の試食会の実施や、リーフレットを配布を行い、広く市民に周知しました。

○地産地消出前講座の実施

市内小学校15校，公民館，給食士向け 講座回数：17回

○学校・保育所給食への市内産農産物の使用拡大と地産地消の啓発

- ・6月29日に学校給食で「地場産物100%給食」，7月2日に保育所給食で「地場産物を使用した給食」を実施しました。
- ・学校・保育所給食への市内産農産物の直接納入を拡大するため，農業者の方へ栽培講習会を実施しました。
- ・学校給食レシピ集，保育所食事レシピ集を作成し，児童に配布しました。

○市内産農林水産物生産拡大事業

ふくやまSUNの市内市場出荷量の増加を図るため，市内市場出荷用資材を助成するとともに，新規栽培者の育成を支援するため，ふくやまSUN認定団体に育成経費を助成しました。

○耕作放棄地対策事業（※再掲）



【ふくやま地産地消の日】



【地産地消出前講座】



【産直市】

2 成果と年度別事業費

○学校・保育所給食への市内産農産物の直接納入が拡大しました。

- ・学校給食における地場産物使用割合：23.3%（対前年度1.7%増）
- ・全地域で学校や給食センターへの直接納入が可能になりました。
- ・小学校等への出前講座による啓発活動など，地産地消推進運動の取組を推進しました。

（単位：千円）

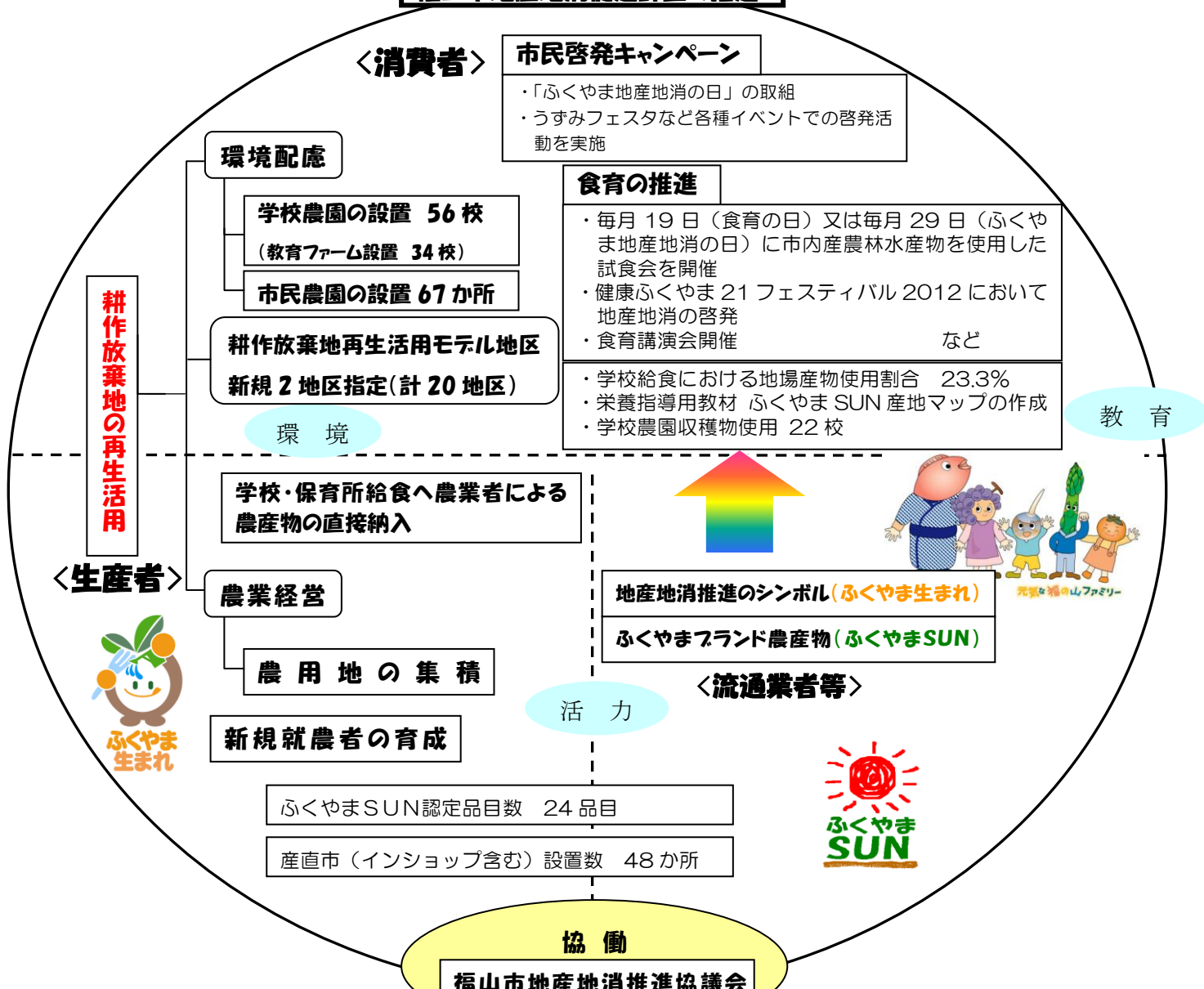
|     | 2010年度<br>(平成22年度)        | 2011年度<br>(平成23年度)         | 2012年度<br>(平成24年度)        |
|-----|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 事業費 | 18,655<br>(※再掲分9,497千円含む) | 19,679<br>(※再掲分10,483千円含む) | 20,110<br>(※再掲分7,733千円含む) |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

# 「福山発！地産地消」推進運動の展開

(地SUN地SHOW)

## 福山市地産地消促進計画の推進



- 行政支援**
- 耕作放棄地対策事業
  - 農業生産基盤の条件整備
  - 農業担い手の育成確保
    - ・中核的農業者の育成
    - ・集落法人の組織化
    - ・多様な担い手の育成
    - ・農地のあっせん制度
  - ふくやまSUNの生産と消費の拡大
  - ふくやま生まれの生産と消費の拡大
  - 産直市生産拡大の支援
  - 学校・保育所給食への市内産農林水産物使用拡大
  - 学校給食地産地消推進ネットワーク
  - 地産地消推進運動の啓発活動展開
  - 「ふくやま地産地消の日」の取組

※ふくやま生まれ：市内産農林水産物及びその加工食品の「シンボルマークと愛称」を公募により制定  
 ※ふくやまSUN：ふくやまブランド農産物の愛称として定着



|         |                               |             |             |
|---------|-------------------------------|-------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>耕作放棄地対策事業(※再掲)</b>         | □ 新規 ・ ■ 継続 |             |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額         | 7, 7 3 3 千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○耕作放棄地再生活用モデル事業

農地としての利用を定着させるため、モデル地区を新たに2地区指定（合計20地区）し、耕作放棄地の再生・活用に取り組みました。



【耕作放棄地】



【作業の様子】



【再生した畑】

○耕作放棄地発生防止事業

耕作放棄地や遊休農地を所有する農家等へ自走式草刈機を無償貸与するなど、良好な環境整備と農業生産基盤の維持・保全を推進しました。

○農業体験型農園等設置推進事業

農業者が遊休農地を体験型農園として再生するための支援を行いました。 補助件数：1件

○耕作放棄地実態把握調査

農業委員による農地利用実態調査を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○新たにモデル地区に指定した2地区において46aの耕作放棄地を解消しました。国の耕作放棄地再生利用交付金事業と合わせて、4年間で1,664aの耕作放棄地を解消しました。

| 地区名    | 町名    | 解消面積 | 活用方法           |
|--------|-------|------|----------------|
| 大畑地区   | 内海町田島 | 35a  | そば栽培, 景観作物, 養蜂 |
| 田島西中地区 | 田尻町   | 11a  | イチゴ・椎茸栽培       |
| 合計     | 2地区   | 46a  |                |

○自走式草刈機の貸出件数：74件

○農業体験型農場：1か所（新市町）

○耕作放棄地実態把握調査により120.5haの耕作放棄地を確認しました。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 9,106              | 10,483             | 7,733              |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                     |                                 |
|---------|---------------------|---------------------------------|
| 施策（事業）名 | <b>里山里地の再生・保全事業</b> | ■ 新規 ・ □ 継続                     |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～     | 決算額 50,137千円<br>(再掲分 7,733千円含む) |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○里山里地モデル地域支援事業

4モデル地域（駅家、赤坂、山野、山手・津之郷）を指定し、里山林の大規模伐採や下草刈り、耕作放棄地再生活用、水路・散策道の整備、古民家再生などの活動を支援しました。

○里山里地協力隊支援事業

市民、NPO、企業、大学などから、里山里地協力隊員を募集し、モデル地域での里山里地の再生・保全活動を支援しました。

- ・刈払機・チェーンソー取扱い講習会：2回
- ・協力隊員貸出用の機械・器具の整備
- ・協力隊員登録数：44人・2団体（16人）
- ・モデル地域での活動：9回



【里山里地再生活動】

○有害鳥獣被害対策事業

- ・猟友会員で構成される有害鳥獣捕獲班による捕獲を行いました。  
捕獲数 イノシシ：1,292頭 サル：11頭 タヌキ：16頭 カラス：777羽など
- ・市民を対象とした被害防止対策に関する講演会などを開催しました。参加者数：90人
- ・侵入防止柵や捕獲用箱わなを設置する団体に対し、資材の支給や経費の一部を補助しました。
- ・地域ぐるみで有害鳥獣被害対策に取り組む団体に対し、経費の一部を補助しました。（4団体が耕作放棄地の草刈，山際の草木の伐採，箱わなの補修などを実施）



【箱わな】



【侵入防止柵】



【有害鳥獣対策講演会】

○耕作放棄地対策事業（※再掲）

2 成果と年度別事業費

- モデル地域の住民と里山里地協力隊、行政との協働による新たな仕組みでの里山里地の再生・保全に取り組みました。
- 有害鳥獣が近づきにくい環境整備や捕獲・侵入防止対策などを総合的に進めました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度)        |
|-----|--------------------|--------------------|---------------------------|
| 事業費 | (17,935)           | (38,524)           | 50,137<br>(※再掲分7,733千円含む) |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 施策（事業）名 | <b>買い物支援事業</b>  | ■ 新規 ・ □ 継続 |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～ | 決算額 0千円     |

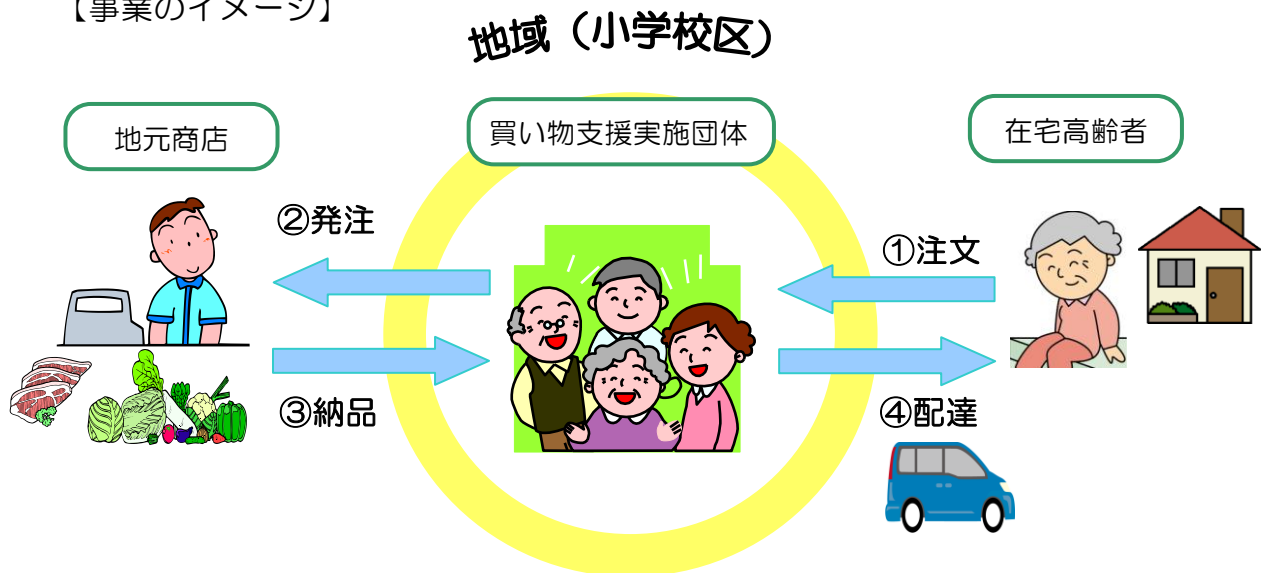
1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

地域の関係団体（自治会，老人クラブ等）を対象として，事業概要や実施方法等を説明しました。実施を検討している学区とは，地域の課題などについて協議し，より効果的・持続的な支援内容を検討しました。

○情報提供・説明会

実施回数 20回（学区数 約60学区）

【事業のイメージ】



※行政は，各学区の実施団体の活動支援，商店との調整などを行う。

2 成果と年度別事業費

○一部地域では，次年度以降の実施に向け，体制づくりなどの具体的な検討が進められました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 0                  |

事業費は，「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                    |                     |
|---------|--------------------|---------------------|
| 施策（事業）名 | <b>青少年自立支援事業</b>   | ■ 新規 ・ □ 継続         |
| 計画期間    | 2007 年度(平成 19 年度)～ | 決算額 <b>8 1 7 千円</b> |

**1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと**

自宅に引きこもりがちな状態にあるなど、社会との関係が希薄な青少年（概ね 15 歳から 40 歳未満）を対象に、ボランティア活動を始めとする社会体験活動プログラムや企業などでの職場体験（就労支援プログラム）を通じて、社会活動への参加を促しました。

・ **社会体験活動プログラム**

ペンキ塗りや芦田川清掃，車椅子体験や農業体験，パソコン教室や履歴書の書き方・面接の受け方など 35 回実施しました。


期間：2012 年（平成 24 年）6 月～2013 年（平成 25 年）2 月

・ **就労支援プログラム**


社会体験活動プログラムを通じて集団活動にも慣れ，就労意欲が出始めた青少年に対し，1 日～10 日の職場体験を行いました。

**2 成果と年度別事業費**


- 社会体験活動プログラム登録者数 36 人
- 就労支援プログラム体験者数 16 人（11 社・延日数 98 日）
- 保護者会を 6 回開催（保護者間の情報や課題を共有するとともに，お互いの悩みを話し合った。）



参加者が、『自分たちの体験を伝えたい』との気持ちから，いろんな意見を出し合いました。



自分を誉めてもらえることが嬉しかった。自分を表現するたびに周囲がちゃんと応えてくれて，とても心地良かった。



勤労青少年ホームでは，勉強になることから，楽しいことまで，幅広くいろいろな事が体験でき，気分転換になり，前に踏み出すきっかけになりました。

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 817                |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                     |              |
|---------|---------------------|--------------|
| 施策（事業）名 | <b>生活保護受給者の自立支援</b> | ■ 新規 ・ □ 継続  |
| 計画期間    | 2012年度(平成24年度)～     | 決算額 12,065千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○就労支援事業

失業などによる生活保護受給者の増加に対し、より細やかな支援を行うため、就労相談専門員を配置するとともに、ハローワークと連携して職業紹介や就職準備支援（コミュニケーション能力の向上など）に取り組みました。

○子どもの健全育成支援事業

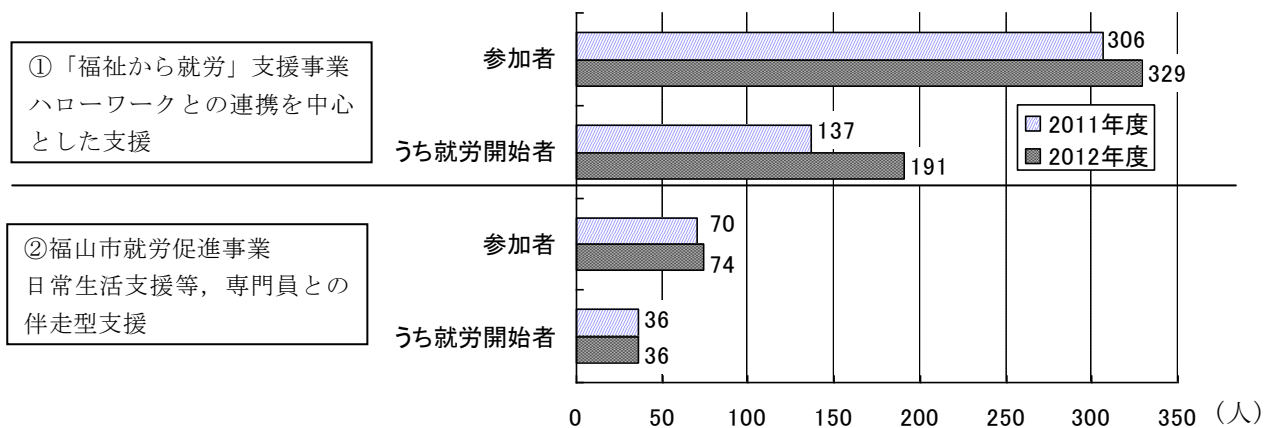
家庭・教育支援員，家庭訪問員を配置し，高校進学への支援や不登校などの改善支援を行いました。また，「こどもの居場所」を開設し，進路・生活相談や学習支援などにも取り組みました。



【学習支援の様子】

2 成果と年度別事業費

○生活保護受給者に対し，生活習慣の改善指導やコミュニケーション能力の向上などの支援を行うことにより，就労開始率が向上しました。



○支援員などの家庭支援や「子どもの居場所」における取組によって，高校進学率の向上や不登校の改善につながっています。

（「子どもの居場所」開設数：54回，参加延べ人数：643人）

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | —                  | 12,065             |

事業費は，「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                               |              |
|---------|-------------------------------|--------------|
| 施策（事業）名 | こども発達支援センター整備事業               | □ 新規 ・ ■ 継続  |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～2012年度(平成24年度) | 決算額 58,776千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○こども発達支援センターの開設

福山市保健センター内に、広島県東部・岡山県西部の6市2町（三原市，尾道市，府中市，神石高原町，世羅町，笠岡市，井原市，福山市）が共同で運営する「こども発達支援センター」を整備し、広域にわたる支援の拠点施設として、11月1日から診療を開始しました。



【こども発達支援センター】



【事務室】

○関係機関との連携による支援

医師，保健師，看護師，臨床心理士，作業療法士などを配置し，発達障がいや，その疑いのある就学前の児童とその保護者に対し，相談や診察，訓練などの医療的支援を実施しました。

また，保育所，幼稚園，療育機関，学校などの関係機関や保健師と連携し，途切れのない支援に努めました。



【診察室】



【発達支援室】

2 成果と年度別事業費

○2012年度（平成24年度）利用延べ件数：844件（うち，福山市782件，三原市0件，尾道市2件，府中市15件，神石高原町0件，世羅町21件，笠岡市19件，井原市5件）

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 272                | 116,277            | 58,776             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 年度当初の施策（事業）名は「(仮称) こども発達支援センター整備事業」

|         |                               |                 |
|---------|-------------------------------|-----------------|
| 施策（事業）名 | <b>病院施設整備事業</b>               | □ 新規 ・ ■ 継続     |
| 計画期間    | 2008年度(平成20年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 6,552,274千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

○病院増築事業

市民病院の機能充実に向け、病棟の増築工事を実施しました。

- ・増築工事 2011年（平成23年）7月～2013年（平成25年）2月

・増築工事の概要

- ・外来診察室の増設，化学療法室，内視鏡室の移転拡充
- ・手術室の増設，院内ICU・HCUの設置
- ・病棟の増築



【増築棟(全景)】

○立体駐車場増築事業

駐車スペースを確保するため、立体駐車場の増築工事を実施しました。

- ・第Ⅰ期工事 172台



【立体駐車場増築棟】

2 成果と年度別事業費

○救急医療・がん医療を柱に、地域で完結する医療提供体制の構築に向け、機能を充実しました。

(単位：千円)

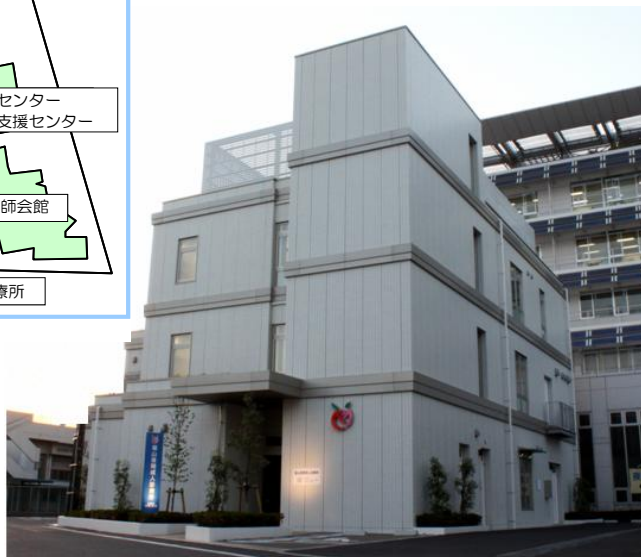
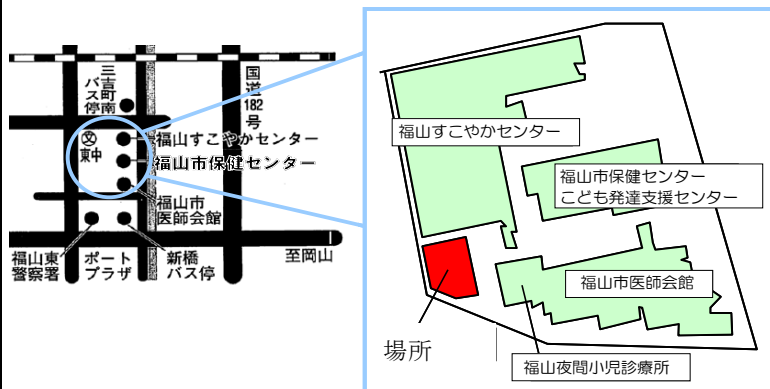
|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 330,536            | 421,980            | 6,552,274          |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                               |               |
|---------|-------------------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>福山夜間成人診療所整備事業</b>          | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2010年度(平成22年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 413,275千円 |

1 2012年度(平成24年度)に取り組んだこと

夜間に入院などが必要な重症患者を受け入れる二次救急病院の負担軽減を図るため、福山夜間成人診療所を整備するとともに、市や医師会などの関係機関で構成する「福山夜間成人診療所整備事業に係る連絡調整会議」等において、診療所の運営内容等を検討しました。



【福山夜間成人診療所】

※運営：一般社団法人福山夜間成人診療所共同事業体（市内4医師会で構成）

2 年度別事業費

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | 51,347             | 413,275            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計  
注) 当初の施策（事業）名は「(仮称) 救急支援診療所整備事業」

|         |                   |               |
|---------|-------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>消防・救急体制の整備</b> | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2005年度(平成17年度)～   | 決算額 270,878千円 |

**1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと**

○北消防署改築事業

2013年度（平成25年度）の完成に向け、建設工事などに着手しました。

- ・事業期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 4階建
- ・延べ面積 1,801.66㎡



【北消防署(完成予想図)】

○南消防署輛出張所改築事業

2014年度（平成26年度）の完成に向け、実施設計、用地取得などに着手しました。

- ・事業期間 2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度）
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 5階建
- ・延べ面積 1,451.13㎡



【南消防署輛出張所(完成予想図)】

**2 成果と年度別事業費**

- 中心市街地を管轄する防災拠点としての北消防署庁舎改築工事を実施しました。
- 輛地区を中心とした市南部を管轄する防災拠点として南消防署輛出張所庁舎改築に着手しました。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 472,613            | 28,663             | 270,878            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                   |              |
|---------|-------------------|--------------|
| 施策（事業）名 | <b>水道施設の耐震化事業</b> | □ 新規 ・ ■ 継続  |
| 計画期間    | 2007年度(平成19年度)～   | 決算額 19,097千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

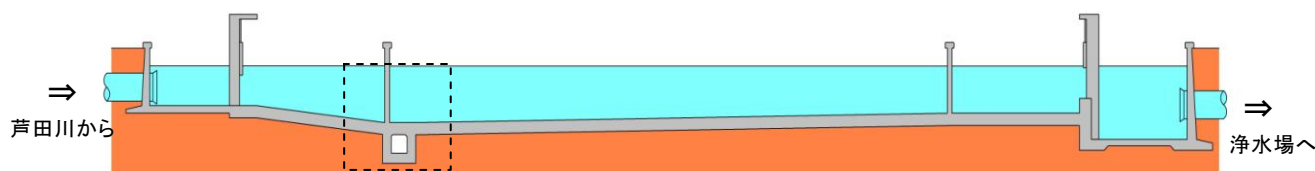
地震など災害に強く安定した水道の給水体制を確立するため、水道施設の耐震化や耐震補強を計画的に進めました。

○沈砂池耐震補強工事

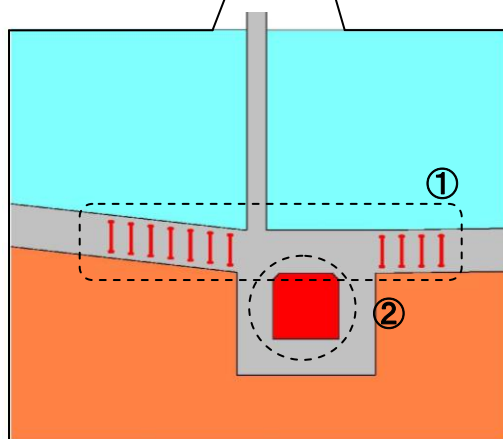
中津原浄水場の取水施設（沈砂池※）の耐震補強工事を行いました。

※沈砂池（ちんさち）・・・川から取り入れた水（原水）の中の土や砂などを沈めて取り除く施設

【沈砂池断面図】



【工事か所拡大図】



【工事内容】

- ① …池底のコンクリートに鉄筋を挿入して補強しました。
- ② …池底の空洞部にコンクリートを詰めて補強しました。

2 年度別事業費

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 232,038            | 347,559            | 19,097             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

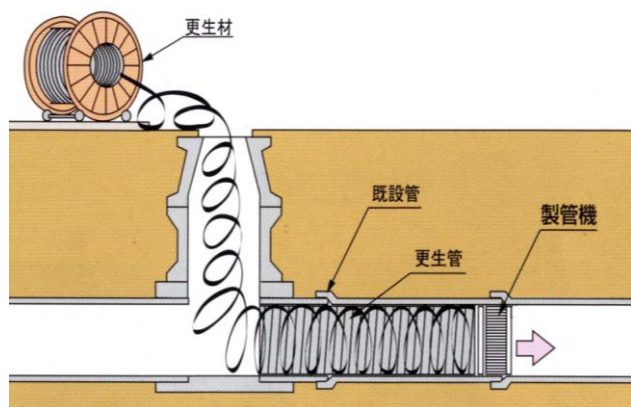
|         |                               |               |
|---------|-------------------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>下水道施設の耐震化事業</b>            | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 143,994千円 |

**1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと**

地震による下水道機能の停止を最小限に抑えるため、下水道地震対策緊急整備計画に基づき、広域避難場所から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化を進めました。

○下水道管渠耐震化工事（中央公園から流域下水道幹線まで）

工事延長 L=306m 内径 φ1,650mm



【下水道管渠耐震化工事イメージ】

(既設管渠の中に、地震に強い管を新たに造る)



【下水道管渠耐震化工事完成】

**2 成果と年度別事業費**

下水道地震対策緊急整備計画

- ・全体計画延長 L=5,930m（2012年度（平成24年度）第2回変更）
- 2012年度(平成24年度)進捗率 51.2%

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | (245,357)          | 189,086            | 143,994            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                        |                  |
|---------|------------------------|------------------|
| 施策（事業）名 | <b>小・中学校の耐震補強等整備事業</b> | □ 新規 ・ ■ 継続      |
| 計画期間    | 2006 年度(平成 18 年度)～     | 決算額 1,781,334 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

児童生徒が安心して安全に学べるとともに、災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう、耐震補強などを計画的に行いました。

○屋内運動場整備事業

耐震化を進めるため、改修工事、耐震改修設計を実施しました。

- ・小学校 改修 3 棟（宜山小，常石小，山南小）
- ・中学校 改築 1 棟（城東中），改修 2 棟（駅家中，新市中央中）

○校舎改修事業

耐震化を進めるため、改修工事，二次診断，耐震補強設計を実施しました。

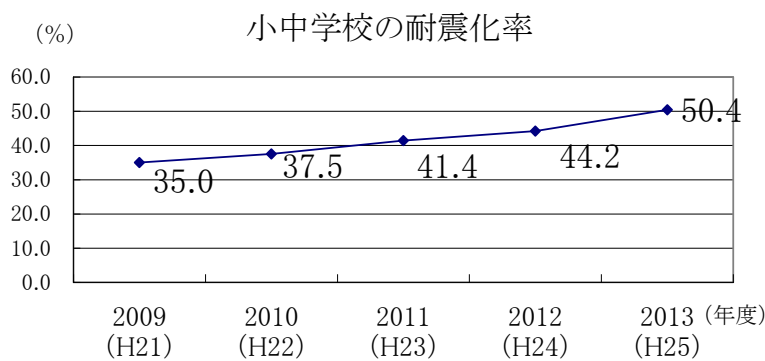
- ・小学校 改修 3 棟（深津小（北棟），泉小（北棟），曙小（北棟））  
二次診断，耐震補強設計 52 校
- ・中学校 改修 1 棟（城南中（北棟））  
二次診断，耐震補強設計 20 校
- ・福山中学校・高等学校  
二次診断



【曙小学校北棟耐震補強工事】

2 成果と年度別事業費

○災害時の避難場所となる屋内運動場のうち，倒壊の危険性が高いとされている I s 値 0.3 未満の施設の耐震化と校舎の二次診断が全て完了しました。



(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 1,313,265          | 1,297,651          | 1,781,334          |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                   |              |
|---------|-------------------|--------------|
| 施策（事業）名 | <b>橋りょう長寿命化事業</b> | □ 新規 ・ ■ 継続  |
| 計画期間    | 2009年度(平成21年度)～   | 決算額 22,164千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

福山市が管理する全ての橋りょう（3,080橋）について、長寿命化修繕計画を策定しました。  
この計画の中で、早急な対応が必要と判断された橋りょうについて、調査や設計を行いました。

- ・橋りょう詳細調査・設計 10橋（宮之谷橋，町橋，天満橋，桜原橋，木之庄1号橋，皿山東1号橋，高山川1号橋，北吉津1号橋，北吉津2号橋，神谷川歩道橋）

《修繕例》



【修繕前】



【修繕後】

2 年度別事業費

（単位：千円）

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | (16,204)           | 12,927             | 22,164             |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                               |               |
|---------|-------------------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>出原浄水場更新事業</b>              | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2010年度(平成22年度)～2015年度(平成27年度) | 決算額 258,886千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

2011年度（平成23年度）に着手した管理棟の築造や電気設備・機械設備の設置が完了しました。また、急速ろ過池の機械設備の設置や導水管の布設・布設替，送水ポンプの設置に着手しました。

○管理棟の築造

- ・管理棟築造工事（鉄筋コンクリート造 2階建 636.0 m<sup>2</sup>）

○設備工事

- ・電気設備・・・電気設備設置一式
- ・機械設備・・・給排水衛生設備設置一式 ほか

○急速ろ過池機械設備の設置

- ・急速ろ過池機械設備一式 ほか

○導水管布設及び布設替

- ・導水管※SP φ500mm 布設 L=254.8m ほか

※導水管・・・河川・井戸から取水した水を浄水場内へ導く管

○送水ポンプの設置

- ・送水ポンプ取替（6.7 m<sup>3</sup>/分×50m×90kW×4台）一式 ほか



【管理棟築造工事】



【導水管布設・布設替工事】

2 年度別事業費

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 107,634            | 594,821            | 258,886            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                               |               |
|---------|-------------------------------|---------------|
| 施策（事業）名 | <b>歩道・自転車走行空間整備事業</b>         | □ 新規 ・ ■ 継続   |
| 計画期間    | 2002年度(平成14年度)～2020年度(平成32年度) | 決算額 280,989千円 |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

子どもや高齢者，障がいのある人などに配慮した，だれもが使いやすい安心・安全で快適な歩道整備に取り組みました。また，近年，環境や健康の観点から利用ニーズが高まっている自転車が安心して通行できるように，自転車走行空間整備に取り組みました。

○歩道整備事業

主な整備内容：歩道の拡幅や段差の解消を行いました。

- ・ 福山駅周辺地区（入船三吉2号線・御船入船1号線(御船三吉1号線)・草戸松浜幹線(草戸松浜線)
- ・ 東福山地区（山手東手城幹線(手城三吉線)・南蔵王南手城幹線(手城蔵王線)・東福山駅伊勢丘幹線(停車場裏古地線)



【入船三吉2号線(御船三吉1号線)】



【山手東手城幹線(手城三吉線)】

○自転車走行空間整備事業

主な整備内容：福山駅箕沖幹線（福山駅箕島線）の路側に自転車通行ゾーンを設け，歩道上に自転車の通行位置（車道側通行）を示すサインを貼付しました。



【自転車通行ゾーン】



【通行位置を示すサイン】

2 成果と年度別事業費

○自転車の車道利用率が向上し，歩行者と自転車の利便性・安全性の向上につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 225,756            | 270,699            | 280,989            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

|         |                              |                |
|---------|------------------------------|----------------|
| 施策（事業）名 | <b>交通施設バリアフリー設備整備事業</b>      | □ 新規 ・ ■ 継続    |
| 計画期間    | 2005 年度(平成 17 年度)～平成 20 年代半ば | 決算額 140,718 千円 |

1 2012 年度（平成 24 年度）に取り組んだこと

高齢者を始め、全ての鉄道利用者がより円滑に駅を利用することができるよう、道路から駅の自由通路を結ぶエレベーターを設置しました。

- ・ J R 松永駅柵外エレベーターの設置（2 基）



【整備前(外観)】



【整備後(外観)】



【整備後(自由通路側)】



【整備後(触知案内板)】

2 成果と年度別事業費

○ J R 松永駅の自由通路にエレベーターを設置したことにより、駅利用者の利便性・安全性の向上や駅南北間の移動の円滑化につながっています。

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | 189,979            | 25,521             | 140,718            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



|         |                               |                                                                      |
|---------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 施策（事業）名 | <b>LED防犯灯整備事業(※再掲)</b>        | <input type="checkbox"/> 新規 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
| 計画期間    | 2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度) | 決算額 223,541千円                                                        |

1 2012年度（平成24年度）に取り組んだこと

地域の安心・安全や環境にやさしいまちづくりのため、市内全ての防犯灯を省エネで長寿命が特長であるLED灯へ切り替えています。

- ・ 計画期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）  
約32,000灯 切り替え予定
- ・ 実績 2012年度（平成24年度） 11,456灯切り替え  
(2011年度（平成23年度） 10,141灯切り替え)



【LED灯】

2 成果と年度別事業費

○LED灯への順次切り替えにより、発電の際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を1年間で約395トン削減しました。（2012年度(平成24年度)末 21,597灯切り替え済）

(単位：千円)

|     | 2010年度<br>(平成22年度) | 2011年度<br>(平成23年度) | 2012年度<br>(平成24年度) |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 事業費 | —                  | 174,928            | 223,541            |

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計